

ウォーターモーターゴング

WMGⅢ－A型

取付要領書

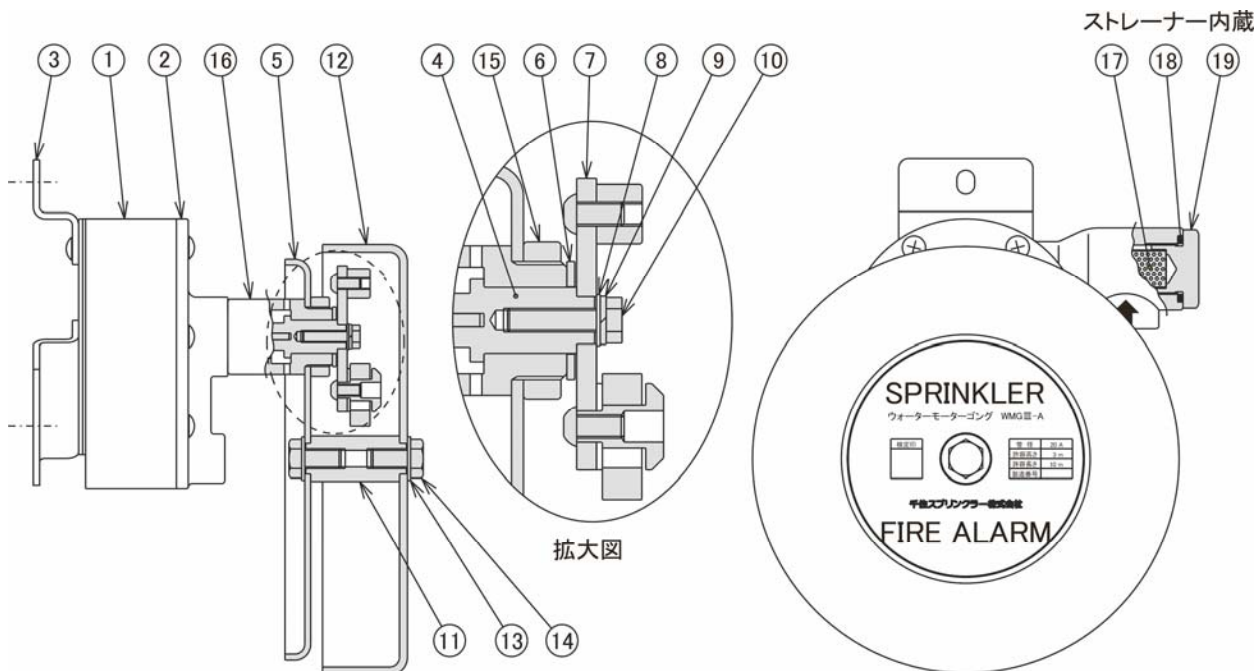
千住スプリングラー株式会社

T060683

1. 本製品の主な名称

本製品の主要構成部品は、次のようになっております。本製品のご理解、ならびにお問い合わせの際にご利用ください。

また、本製品にはストレーナーが内蔵されていますので、別途ストレーナーを設置する必要はありません。



番号	部品名称	個数	材質	備考
1	ケーシングボディ	1	AC7A	
2	軸受けフランジ	1	AC7A	
3	ブラケット	3	SPCC	
4	カップリング	1	POM	
5	ウォールサポーター	1	A5052	
6	滑りワッシャー	1	POM	
7	ストライカーアーム	1	A2024	
8	平座金	1	SUS304	呼び 6
9	ばね座金	1	SUS304	呼び 6
10	六角ボルト	1	SUS304	M6 × 25
11	支柱	1	SS400	
12	ゴング	1	A5083	
13	平座金	1	SPCC	呼び 10
14	六角ボルト	1	SWCH	M10 × 20
15	止めナット	1	A2017	
16	アダプター	1	A2017	
17	スクリーン	1	SUS304	
18	Oリング	1	NBR	P28
19	プラグ	1	C3604	

図1

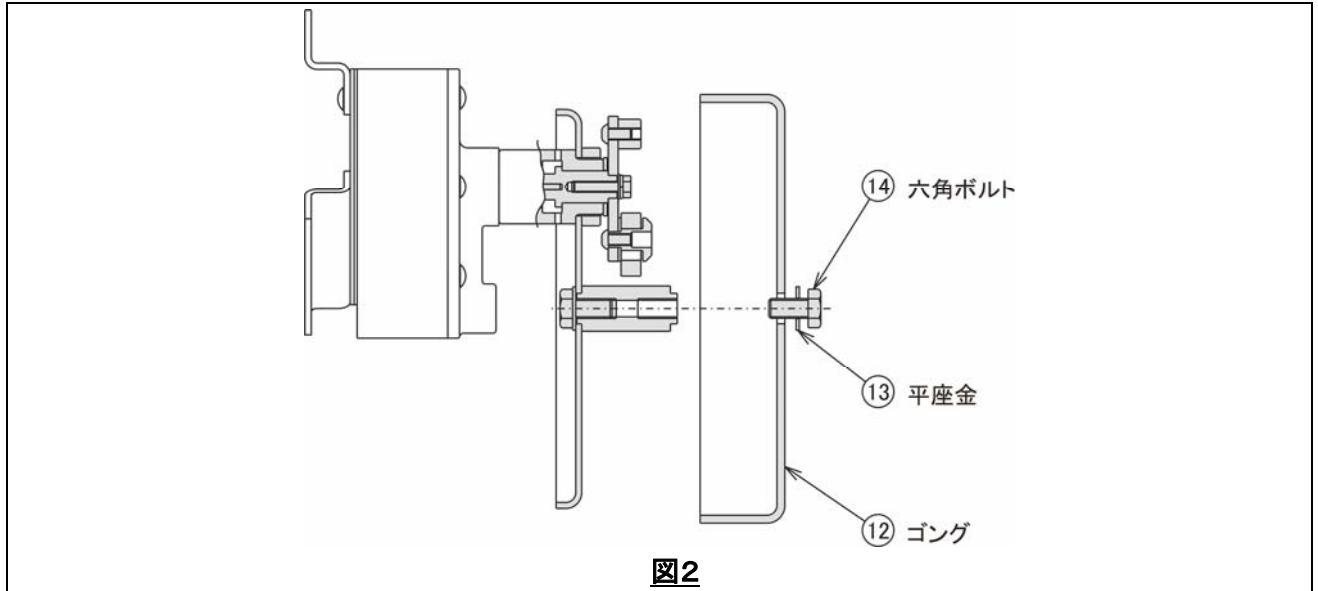
2. ウォーターモーターゴングの取付要領

この取付要領書では、“ゴング周りの部品”を一旦取外してから設置作業を行う方法を記載しています。

これは、本製品の設置作業が高所であったり、一人で設置作業を行う場合など、不安定な足場での作業に対して、安全性を考慮したものです。

設置作業の安全性が確保できる場合には、ゴング周りの部品を分解せず、壁面に設置・固定する方法も可能ですので、その場合は3ページの「2. 4 壁面への固定」以降を参照してください。

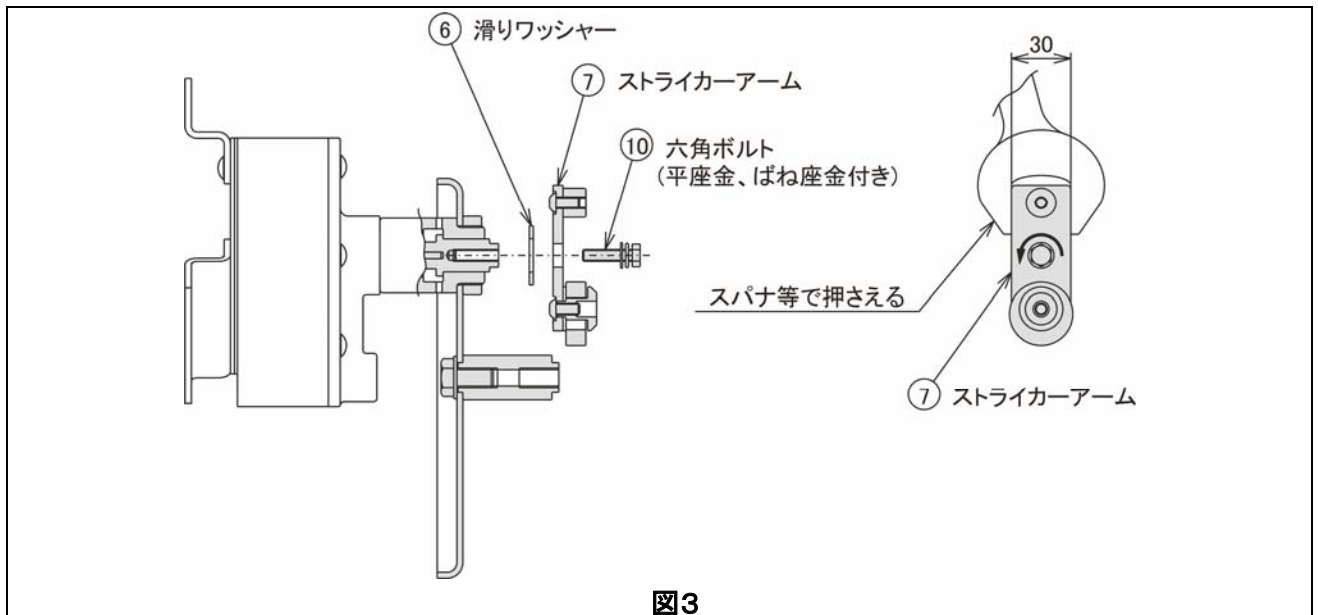
2. 1 ゴングの取外し



「⑭六角ボルト」を緩めて、「⑫ゴング」及び「⑬平座金」を取外してください。

取外す際に、部品を落としたり、無くさないように注意してください。

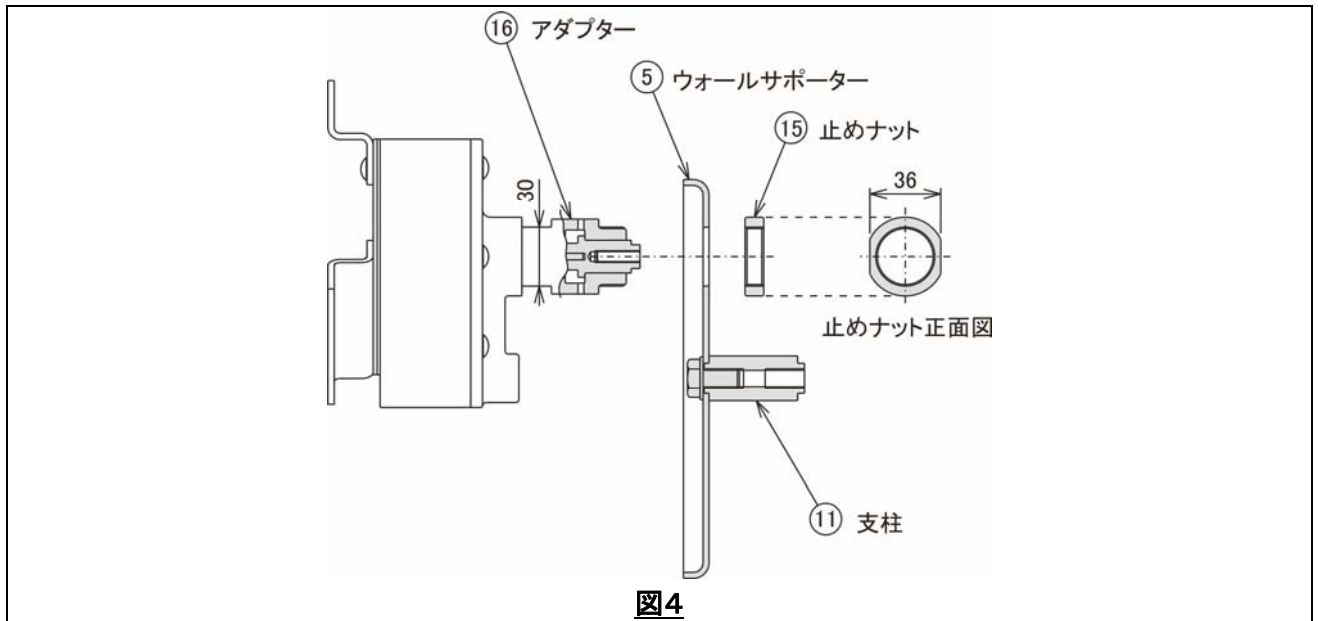
2. 2 ストライカーアームの取外し



上図に示すように、「⑦ストライカーアーム」をスパナ等で押さえながら「⑩六角ボルト」を緩め、「⑦ストライカーアーム」と「⑥滑りワッシャー」を取外してください。

取外す際に、部品を落としたり、無くさないように注意してください。

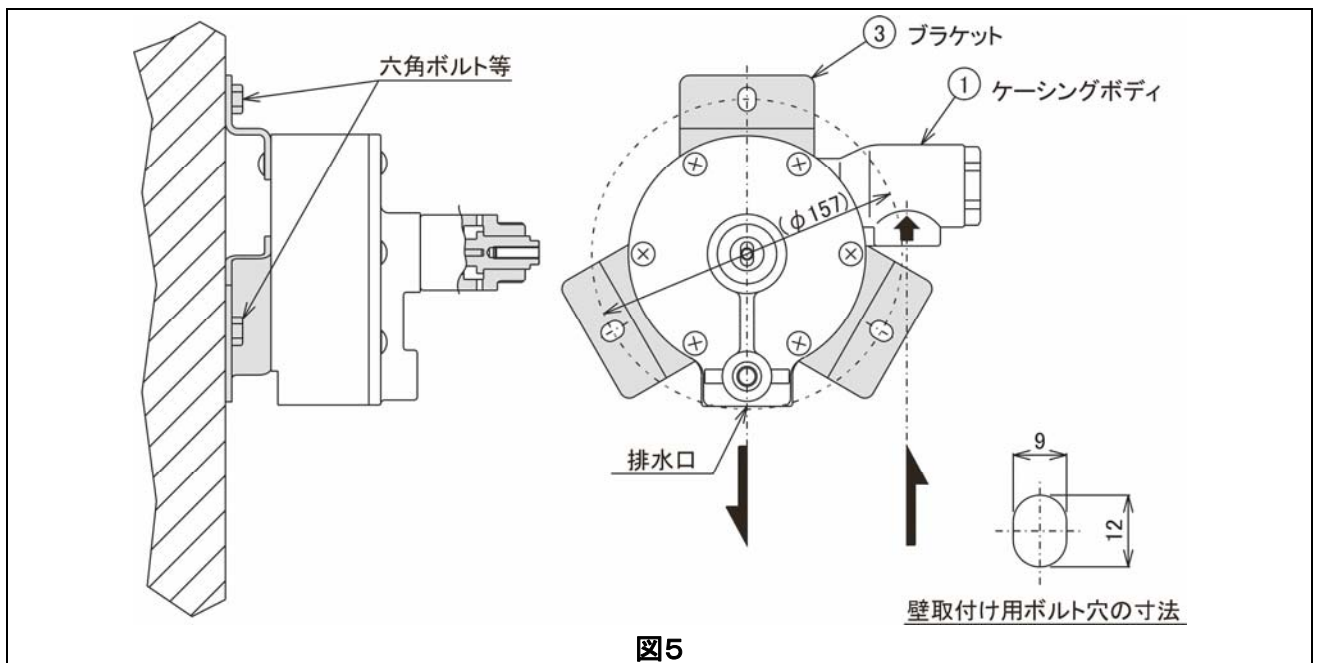
2.3 ウォールサポーターの取外し



スパナ等で「①6アダプター」を押さえながら「①5止めナット」を緩め、「⑤ウォールサポーター」を取外してください。

なお、「①1支柱」は「⑤ウォールサポーター」から取外さないでください。

2.4 壁面への固定

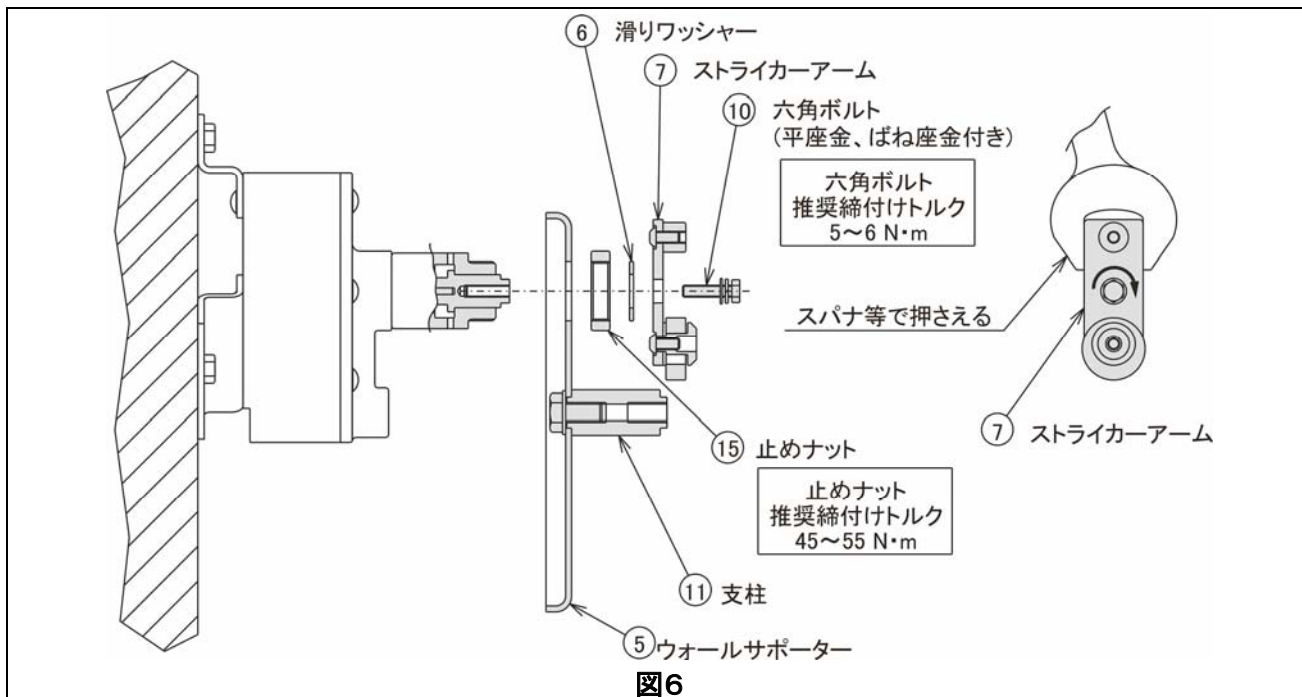


「①ケーシングボディ」の排水口が真下に向く状態で、壁面に「③ブラケット」に設けられている壁取付け用ボルト穴の位置をマーキングし、壁面に穴加工を行ってください(3箇所)。

「③ブラケット」に設けられている壁取付け用ボルト穴の径は、呼び8のネジ用となっています。ボルト等を使用して取付けてください。

ウォーターモーターゴングの設置高さは、アラーム弁の信号停止弁からの高さが3m以内となるようにしてください。この高さを越えた場合、正規の音量が得られなくなる恐れがあります。

2.5 ウォールサポーターとストライカーアームの再組立て

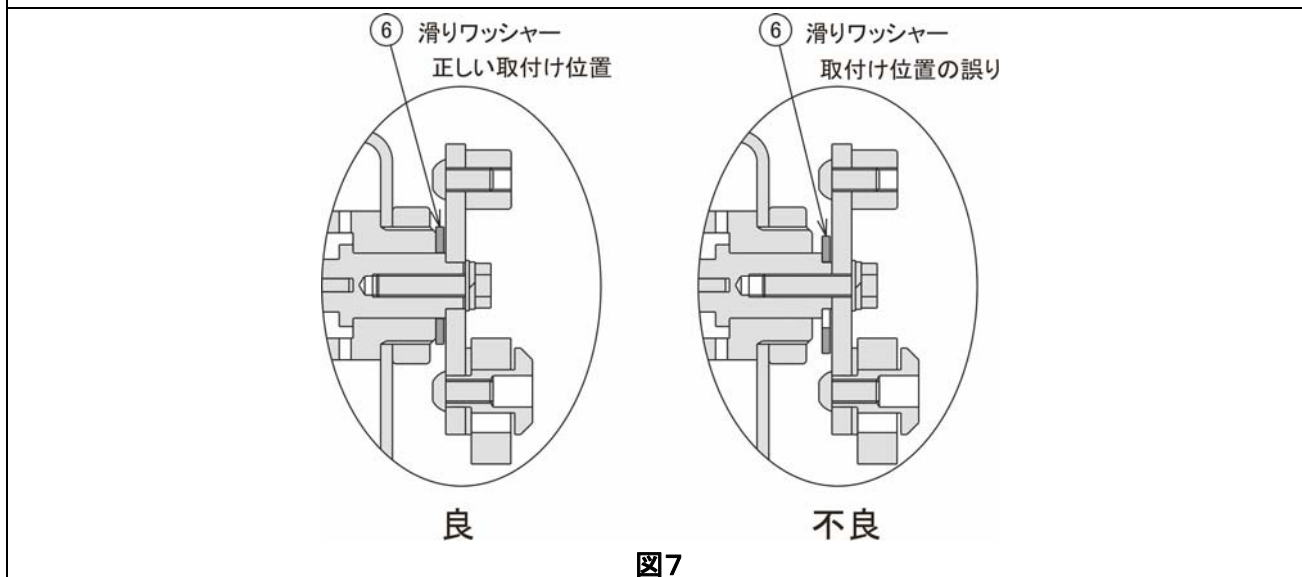


推奨トルク値を目安に「⑮止めナット」を締め込んで「⑤ウォールサポーター」を固定し、その後、「⑦ストライカーアーム」等を再組立てしてください。

再組立ての際は、「⑦ストライカーアーム」を上図に示すようにスパナ等で押さえながら、推奨トルク値を目安に「⑩六角ボルト(平座金、ばね座金付き)」を締め込んでください。

なお、「⑥滑りワッシャー」の装着については、下図7を参照し、正しい位置に取付けてください。

△ 滑りワッシャーの取付けに関する注意事項



再組立ての際、「⑥滑りワッシャー」が所定の位置に挿入されていないと、「⑦ストライカーアーム」が回転しません。上図を参照し、「⑥滑りワッシャー」の芯ずれがないよう正しい位置に取付けてください。

取付け後、「⑦ストライカーアーム」を指で回すことで、スムーズに回転することを確認してください。

2.6 ゴングの再組立て

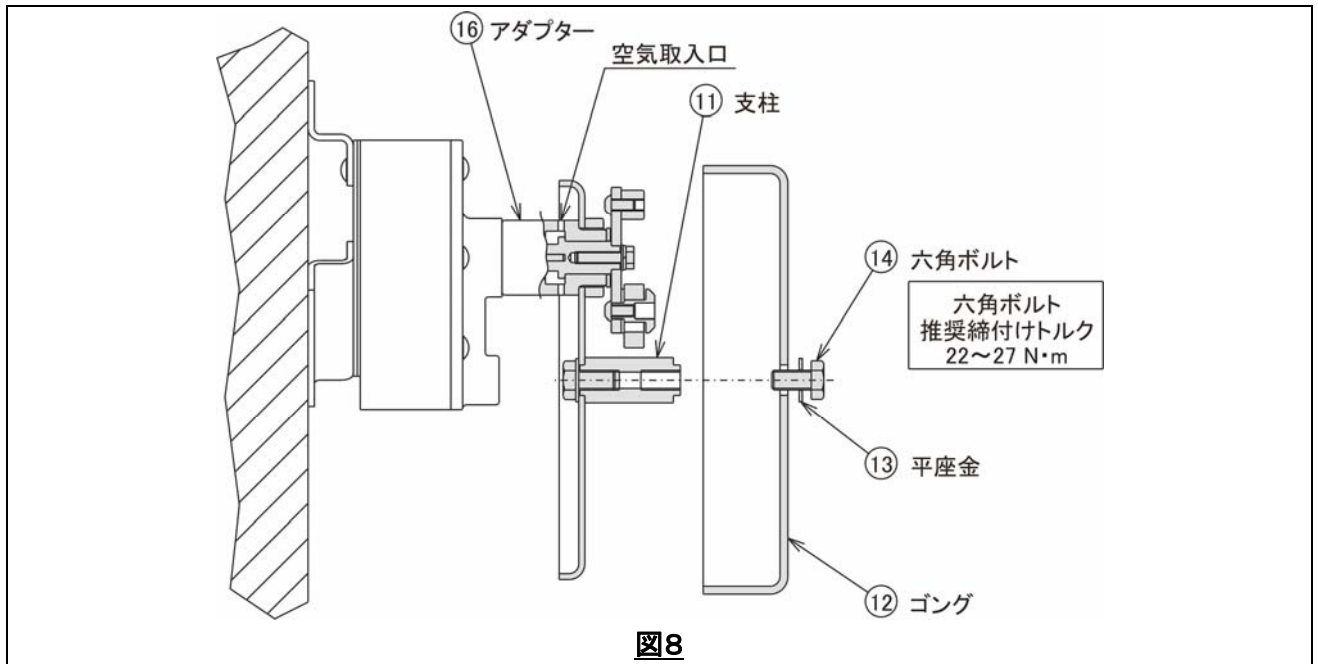


図8

推奨トルク値を目安に「⑭六角ボルト」を締め込んで、「⑫ゴング」を再組立てしてください。
この時、「⑫ゴング」に貼付されている銘板の表示(文字)が逆さま等にならないよう固定してください。
「⑯アダプター」に設けられている空気取入口は塞がないようにしてください。

2.7 配管の接続

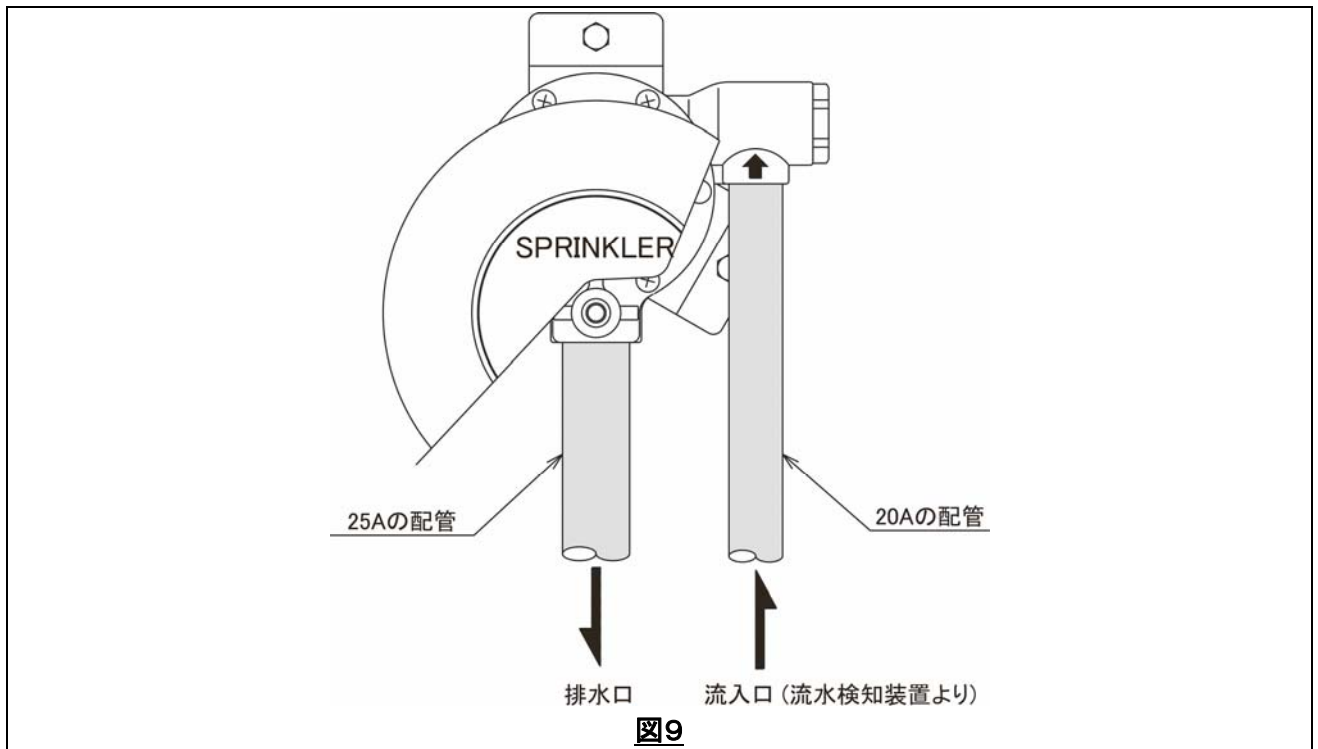


図9

最後に、ウォーターモーターゴングに配管を接続してください。
流入口側には20Aの配管、排水口側には25Aの配管を接続してください。
アラーム弁からウォーターモーターゴングまで、20Aの配管の総長さが10m以内となるようにしてください。この長さを越えた場合、正規の音量が得られなくなる恐れがあります。

⚠ 排水管に関する注意事項

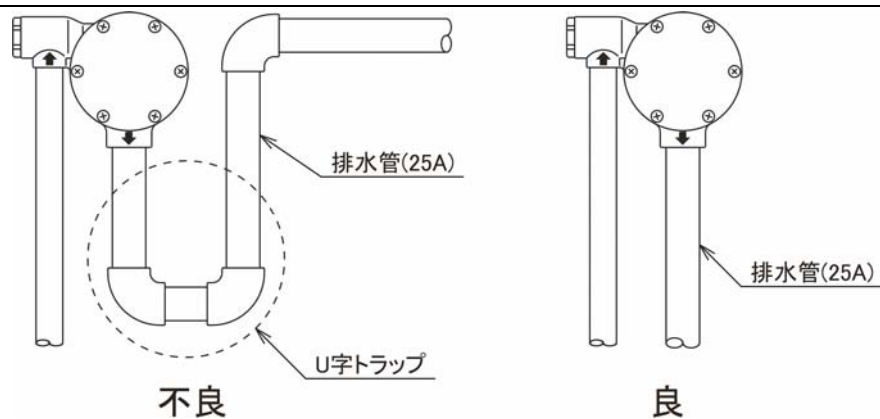


図10

ウォーターモーターゴングからの排水管は、U字トラップ等、排水効率が悪くなるような配管は避けてください。アラーム弁作動時、排水管から正常に排水されずにウォーターモーターゴング内に水が溜まり、正規の音量が得られなくなります。また、ウォーターモーターゴング内が蓄圧し、漏れが発生する恐れがあります。

ウォーターモーターゴングからの排水管において、排水主管側からの逆流が予想される場合には、その途中に逆止弁を設ける等の処置を講じてください。アラーム弁の圧力スイッチが誤作動してしまう恐れがあります。

ウォーターモーターゴング(ケーシングボディ)は耐圧構造ではありませんので、0.1MPaを超える圧力が加わらないようにしてください。

3. ウォーターモーターゴングの取付状態図

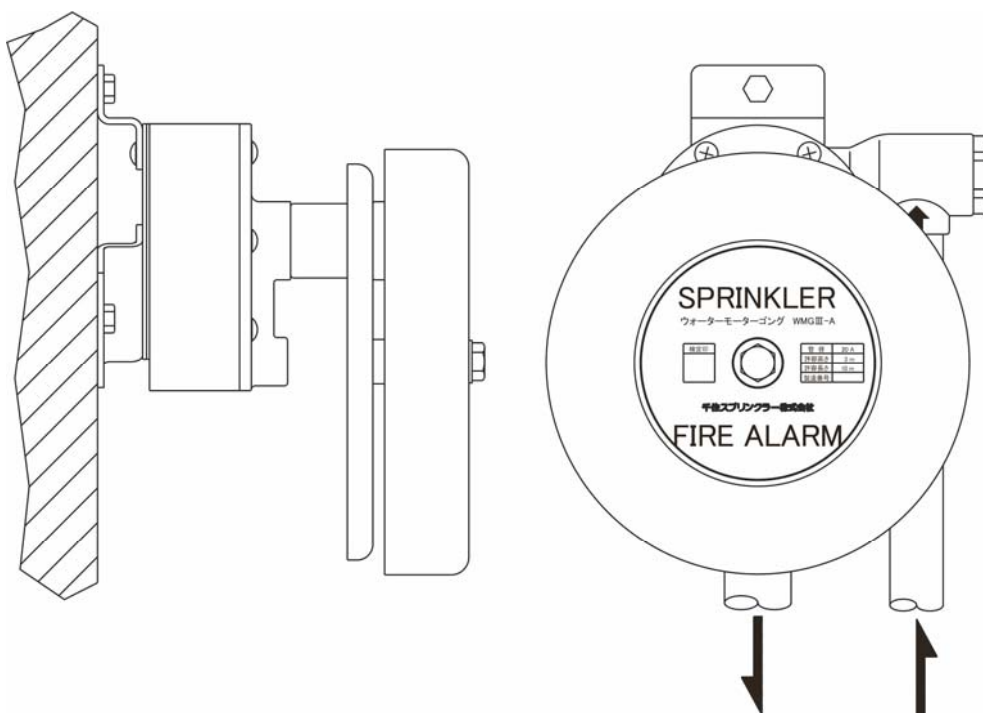


図11

4. ストレーナーのメンテナンス方法

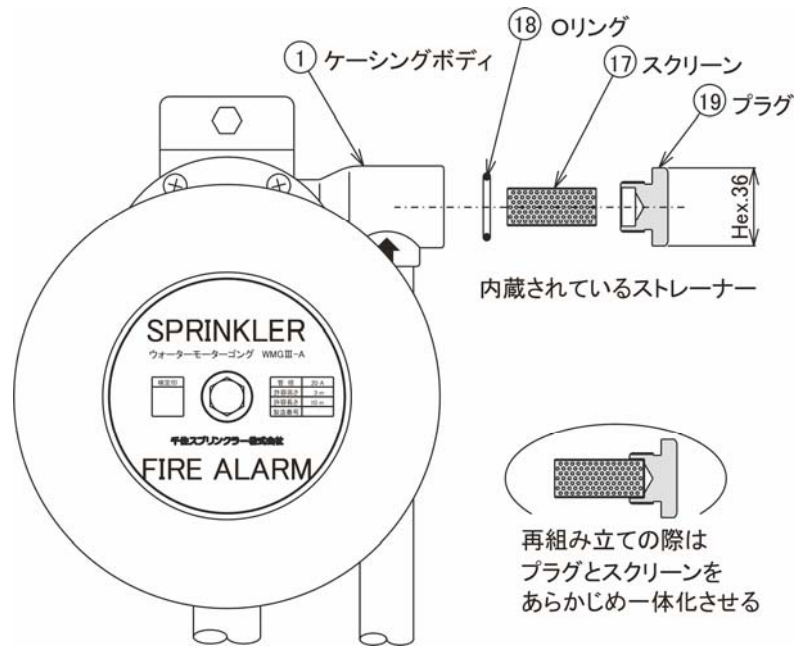


図12

ウォーターモーターゴングを作動させた後、内蔵されているストレーナーの内部にあるスクリーンを清掃してください。

スクリーンが目詰まりしていると、ウォーターモーターゴングの鳴動音が小さくなったり、鳴らなくなったりする恐れがあります。

1) スクリーンの取外し

上図に示すように、「①ケーシングボディ」から「⑲プラグ」及び「⑰スクリーン」を取外してください。取外す際に、「⑱オリング」を無くさないように注意してください。

2) スクリーンの清掃

「⑰スクリーン」が異物等により目詰まりしている場合は、きれいに取除いてください。

3) 再組立て

スクリーン清掃後、先に「⑱オリング」を「①ケーシングボディ」へ取付けてください。次に、あらかじめ上図のように「⑲プラグ」に「⑰スクリーン」を組込んで一体化させてから、「①ケーシングボディ」に元通り組付けてください。

5. お願い

定期的にウォーターモーターゴングの各固定部分に緩みがないか確認してください。